

六 大学入学者選抜の改善等

(一) 大学入学者選抜の改善

① 特色ある多様な大学入試の実施

大学入試の改善については、平成二〇年度大学入試センター試験において、全ての国立大学のほか、四六六の私立大学及び一五六の公立短期大学が利用し、この試験と大学の個別入試とを適切に組み合わせる入学志願者の能力・適性等を多面的に判定するなど、各大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づく主体的な判断により、入試方法の多様化及び評価尺度の多元化などの改善が進められてきている。

② 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の明確化

各大学の教育理念の実現や教育目標の達成に際し、どのような学生を受け入れるかは、大学の教育活動を左右する

重要な事柄である。このため、各大学の入学者受入方針において高校段階で各人が学んでおくべき内容などを明確に必要である。これに加えて、いわゆる「大学全入」時代においては、入学者受入方針が、大学進学希望者における大学選抜の重要な情報ともなることから、入学者受入方針の明確化への一層の努力が期待される。

③ いわゆる「大学全入」時代における高大接続

これまでの入試改善の取組は、受験競争を緩和し、受験生の負担軽減を図るといった観点に立って進められてきた。しかし、いわゆる「大学全入」時代を迎え、選抜性の高い大学を除き、入試の選抜機能が従来ほどは期待できなくなってきた中、高校教育の質保証や大学の入口管理を入試の選抜機能に依存し続けられれば高校と大学の双方に重大な影響を及ぼすおそれがある。高校・大学は、「選抜」でつながる

関係から、客観的かつ詳細な学力の把握とそれに基づく適切な指導によって学力向上が図られるよう、ともに力を合わせて取り組む関係へと変化することが求められている。

このような状況に鑑み、中央教育審議会では、現在、高校教育から大学教育への円滑な移行がなされるための方策について審議が行われているところである。

(二) 高等学校卒業程度認定試験の実施

○ 高等学校卒業程度認定試験の概要

「高等学校卒業程度認定試験（以下「高卒認定」という）」は、平成一六年八月の中央教育審議会答申「大学入学資格検定の見直しについて」を踏まえ、大学入学資格検定の一部見直し（全日制高校在学者への受験資格の拡大、受験科目の精選等）を行い、平成一七年度から実施しているものである。

「高卒認定」は、様々な理由で大学入学資格を得ていない者等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験である。合格者には大学入学資格が与えられるとともに、就職や各種資格試験の受験資格として活用することもできる。

表1 試験科目・合格要件

教科	試験科目	要件
国語	国語	必修
地理歴史	世界史A・世界史B	世界史A・Bのうち1科目必修
	日本史A・日本史B	
	地理A・地理B	いずれか1科目必修
公民	現代社会	現代社会1科目 又は 倫理、政治・経済の2科目 } どちらか必修
	倫理	
	政治・経済	
数学	数学	必修
理科	理科総合	5科目のうち2科目必修
	物理I	
	化学I	
	生物I	
	地学I	
外国語	英語	必修
合格に必要な科目数		8科目(現代社会を選択した場合) 9科目(倫理及び政治・経済を選択した場合)

合格するためには、所定の科目の全てについて合格点を得る必要がある（試験科目・合格要件については表1を参照）。ただし、その者が一八歳に達していないときには、

一八歳の誕生日から合格者となる。

合格者には合格証書が授与されるとともに、申請により合格証明書、合格成績証明書が交付される。

○高等学校卒業程度認定試験の採点ミスについて

平成一九年一二月、一九年度第二回の高卒認定の科目「世界史A」について、コンピュータの採点プログラムに誤りがあることが判明した。この誤りがあつた採点プログラムは、世界史Aについてのみ、平成一七年度の第一回試験から一九年度第二回試験まで計六回採用されていることが確認された。

改めて採点をやり直した結果、平成一七年度から一九年度の試験で計八〇人が新たに認定試験合格者（大学入学取得者）となった。

新たな合格者には、住所等が判明次第速やかに合格証書、合格証明書等を送付したところである。また、大学等の入学試験に支障を来さないよう、一月実施の大学入試センター試験の出願における特別の取扱いを実施するとともに、国公私立大学、都道府県知事及び都道府県教育委員会に適切な対応と配慮などを依頼する旨を通知した（「高等学校卒業程度認定試験のコンピュータ採点プログラムの間違いに

関する受験者の取扱い等について（通知）」（平成一九年一月二十八日付一九文科生第四七〇号生涯学習政策局長・高等教育局長）等）。

文部科学省としては、今回の採点ミスが受験者に多大な迷惑をかけたことを深く反省し、採点プログラムのチェック体制の充実など、再発防止に全力を挙げて取り組むこととしている。

○平成二〇年度高卒認定実施日程

平成二〇年度の試験に係る日程は次のとおりである。

①願書受付

第一回 五月九日（金）～五月二一日（水）

第二回 九月五日（金）～九月二七日（水）

②試験実施

第一回 八月六日（水）・七日（木）

第二回 十一月一五日（土）・一六日（日）

③結果発送

第一回 八月二九日（金）（予定）

第二回 一二月一二日（金）（予定）